

ディプロマ・ポリシー

【次世代日本型教育システム研究開発専攻】

次世代日本型教育システム研究開発専攻においては、教育のグローバル化・国際標準化に対応し、日本型教育システムの海外発信と国内教育のグローバル化、在外教育施設の支援のために必要な実践的教育力および研究開発能力として、以下のいずれかの能力を身につけた人に修士号を授与します。

- (1) 学校教育における次世代日本型教育システムについて十分な知見を修得し、国内外の教育組織の管理・運営スタッフと連携して、日本の文化と教育システムを国際的に展開できる能力
- (2) 現在の日本型教育システムの課題と可能性を明らかにし、次世代の日本型教育システムを研究開発できる能力
- (3) 日本型教育システムの課題と特長を、国内外の教育機関で実践的に解決・発展させる能力

【教育支援協働実践開発専攻】

教育支援協働実践開発専攻においては、学校教育の内外で教育支援・教育協働に先導的役割を果たすため、以下の能力を身につけた人に修士号を授与します。

- (1) 「専門力」：教育における連携・協働の前提となる、「教育の高度情報化」「教育における心理的支援」「教育のネットワーク化」についての基礎的な知識を持つとともに、特定の領域での高い専門性を備え、教育における連携・協働について深く洞察できる力。
- (2) 「企画提案力」：教育における連携・協働の可能性と限界について基本的な理解を持つとともに、現代の教育課題のどの場面で、どのように教育AIや心理的支援の方法、教育ネットワークを活用できるかを考え提案することができる力。
- (3) 「分析的実践力」：学校教育の諸側面でAIの利活用や心理的支援、連携・協働を進めるために、教育に関する様々なデータを収集・分析し、具体的に現場を改革できる実践力。
- (4) 「コミュニケーション力・チーム構築力」：教育支援・教育協働において、学校や企業、行政、地域と協働し、学校において求められる教育改革を進めていく「チーム」を構築する力。
- (5) 「チャレンジ精神・主体性」：教育に関する高度な専門性に基づき、教育課題を自

ら発見しそれを解決することを通して、教育改革を推し進めようとする力。また、組織内や自らでも事業を立ち上げようとする起業家精神に基づく力。